

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	障害福祉課担当課長 田中 良一		
健福-33	実施事業	障害者施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	障害福祉課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	発達支援室
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	知的障害者、障害児等
意図	・知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。 ・障害児等に余暇活動の場を提供することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。
効果	・知的障害者の社会性の向上を図る。 ・障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。</li> <li>・鎌倉はまなみについて大規模修繕を実施した。</li> <li>・障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	32,408	47,149	当初予算(千円)	33,661			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	32,408	47,149	一般財源	33,661			
事業運営	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	3,941	4,087	人件費(千円)	7,957			
	総事業費(千円)	36,349	51,236	総事業費(千円)	41,618			
事業費	市民1人当りの経費(円)	206	290	市民1人当りの経費(円)	236			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	知的障害者の社会性の向上のために、日常生活上の支援及び生活能力向上や就労のために必要な支援や訓練に関する業務の支援を、引続き実施する必要がある。施設の経年による老朽化で、要修繕箇所が発生しており維持修繕の対応が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	知的障害者の社会性の向上を図るため、指定管理者に委託し事業の効率及び効果的な運営を図り、円滑に実施できた。施設の老朽化による施設設備の維持管理を適切に行っていく。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設や設備の経年劣化により外壁や屋上など大規模な修繕が早急に必要である。</li> <li>指定管理者による施設運営について、民間運営も含めた本施設のあり方が課題となっていることから、指定管理から民間運営の実施に向けた課題の整理を行い方向性を明らかにしていく。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理施設「鎌倉はまなみ」の大規模修繕を実施した。</li> <li>民間運営の実施に向けた基本的な課題整理を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成29年度に行った民間運営に係る課題整理では、民間移譲は法的に可能であることから、平成31年度に民間移譲できるよう検討を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	運営方法の検討						単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
民営化も含めた施設運営方法の検討を要するため	目標値	指定管理実施	指定管理実施 次期管理者選定	指定管理実施	指定管理実施 次期運営検討	指定管理実施 次期運営検討	民営化		
	実績値	指定管理実施	指定管理実施 次期管理者選定	指定管理実施	指定管理実施 次期運営検討				
	達成率	-	-	-	-				

指標の内容	鎌倉はまなみ施設利用状況の推移						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
施設利用者数の状況を把握するため(実績値のみ)	目標値	-	-	-	-	-	-				
	実績値	13,584	13,365	13,315	13,450	-	-				
	達成率	-	-	-	-						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	鎌倉はまなみは、生活介護事業「鎌倉わかみや(定員30人)」、多機能事業「鎌倉はまなみ(定員25人)」がある。年度間での活動日数の関係で、利用者の増減はあるものの、年間を通してほぼ100%近い利用が続いている。
-----------------------	--